

宮城県の木材需給動向について



令和 3 年 6 月 9 日
宮城県水産林政部林業振興課

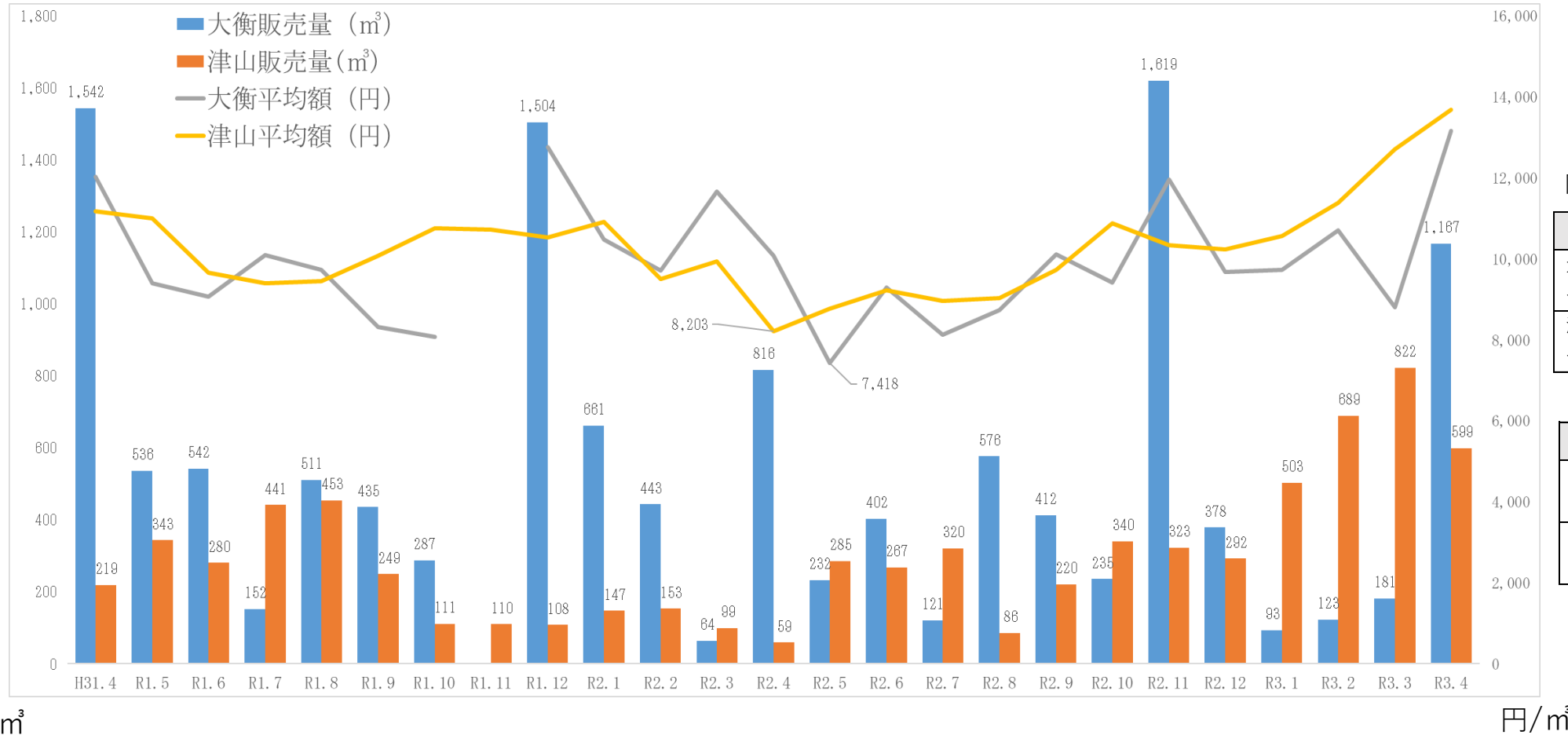


目次

- 1 価格の動向
 - (1) 原木市場・共販所
 - (2) スギ中丸太
 - (3) 合板用素材価格
 - (4) 製品価格の推移・動向（全国，宮城県）
- 2 原木の入荷，製品の生産等
 - (1) 製材工場の推移
 - (2) 合板工場の推移
 - (3) プレカット稼働率（東北・全国）
- 3 県内の新設住宅着工の推移
 - (1) 構法別
 - (2) 利用関係別

1 価格の動向 (1) 原木市場・共販所 (宮城県 大衡, 津山)

- ・令和3年4月の木材価格は例年比で上昇傾向。津山でその傾向が顕著となっている。
- ・令和3年1～4月の販売量は、昨年同時期と比較して大衡で80%，津山で570%となった。



同時期における価格の比較 (円/m³)

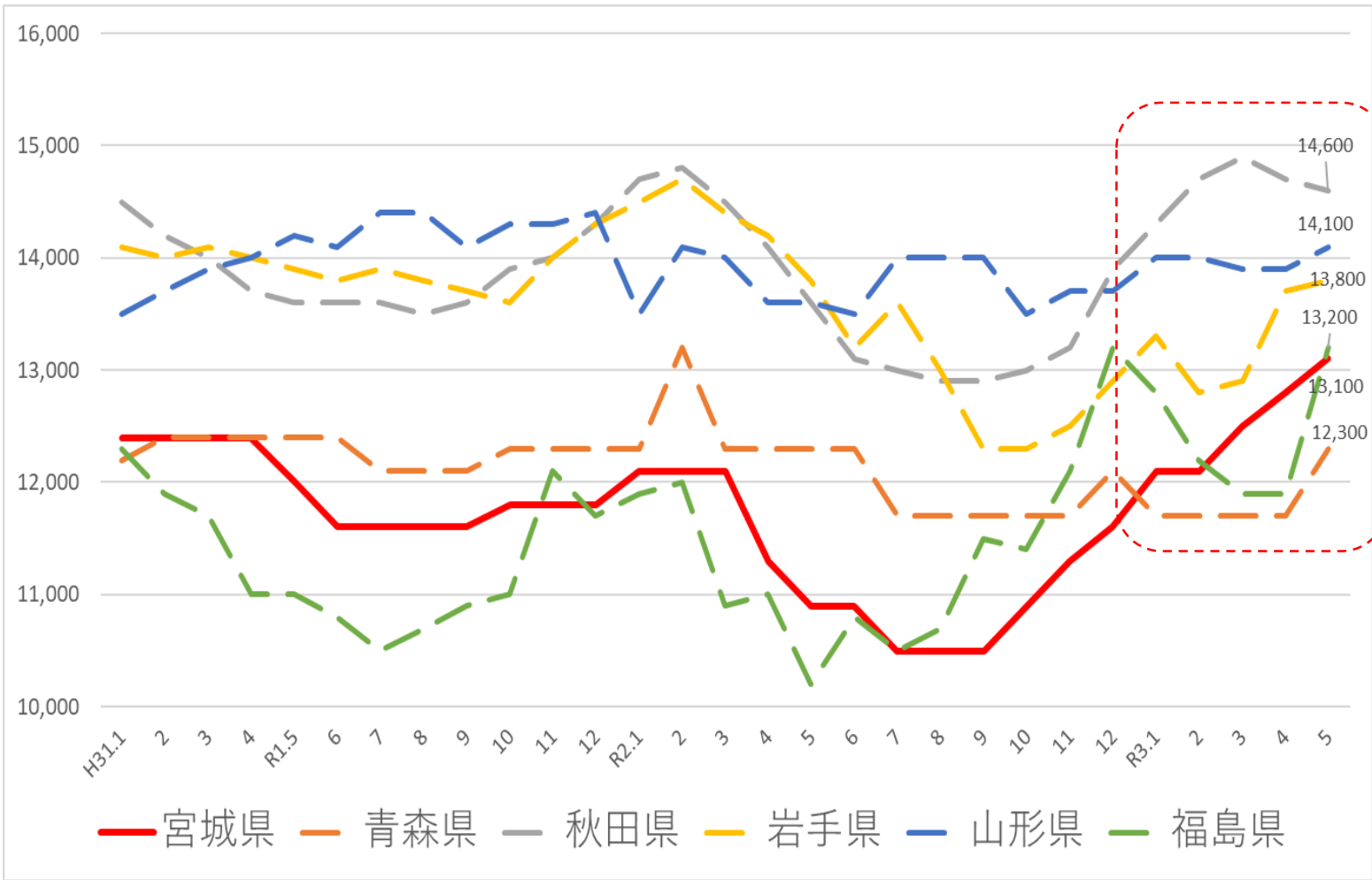
共販名	H31.4	R2.4	R3.4
大衡総合センター	12,030	10,065	13,162
津山木材センター	11,164	8,203	13,684

同時期における価格の比較 (%)

共販名	R3.4/H31.4	R3.4/R2.4
大衡総合センター	109%	131%
津山木材センター	123%	167%

(2) スギ中丸太 径24~28cm 長3.65~4.0m (東北地方)

- ・ 例年と比較して価格は上昇傾向。特に宮城県で令和2年10月からの伸び率が大きい。
- ・ 秋田県，岩手県，山形県では令和2年11月頃から高価格帯を維持。福島県では令和3年5月に高騰。
- ・ 東北6県の平均価格は前々年比105%，前年比109%となっている。



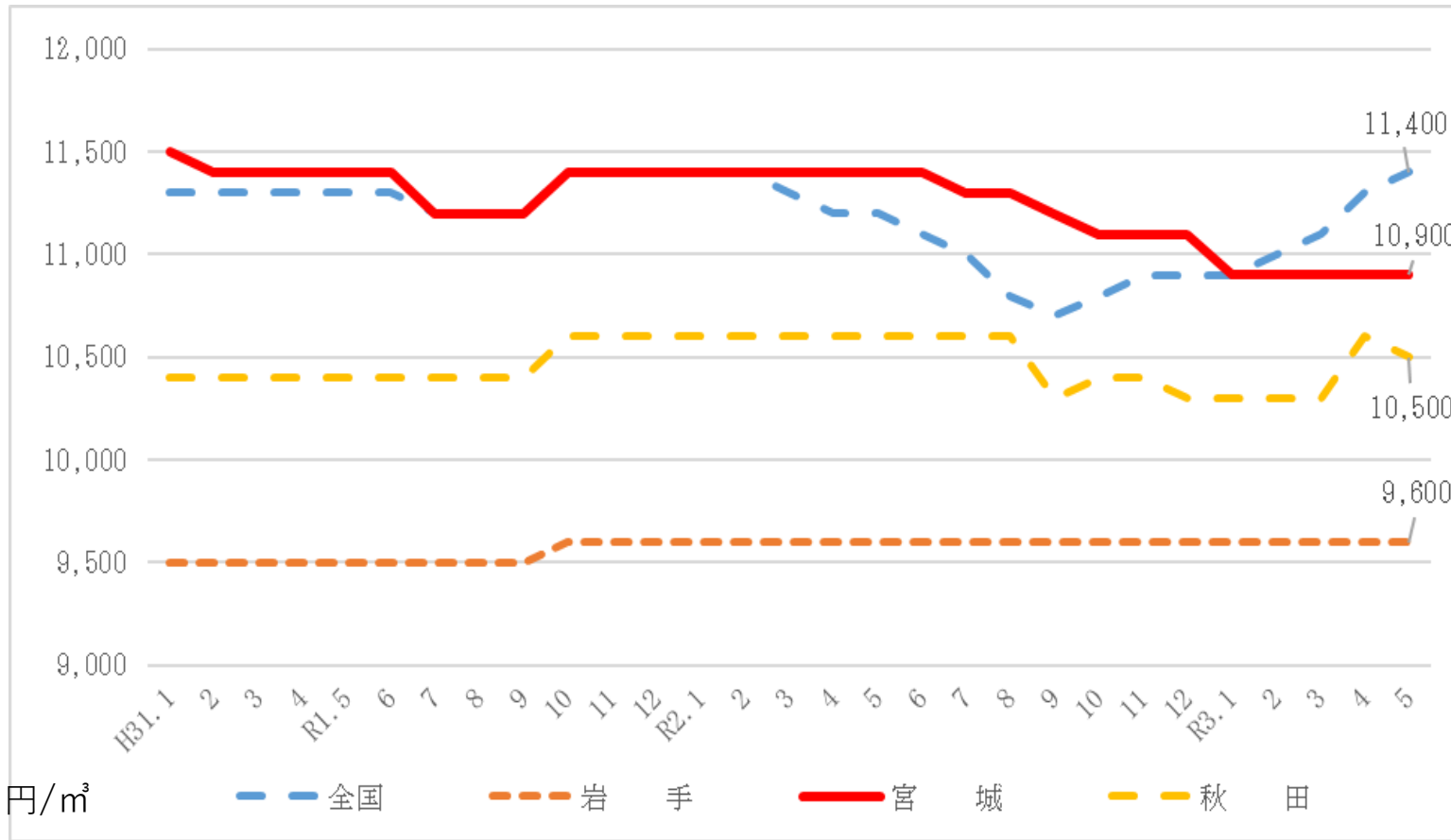
東北6県における価格の比較 (円/m³)

	R1.5	R2.5	R3.5	R3/R1	R3/R2
宮城県	12,000	10,900	13,100	109%	120%
青森県	12,400	12,300	12,300	99%	100%
秋田県	13,600	13,600	14,600	107%	107%
岩手県	13,900	13,800	13,800	99%	100%
山形県	14,200	13,600	14,100	99%	104%
福島県	11,000	10,200	13,200	120%	129%
平均	12,850	12,400	13,517	105%	109%

出典：農林水産省 木材価格統計調査

(3) スギ合板用素材価格 径18cm上 (全国, 宮城県, 秋田県, 岩手県)

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により, 宮城県で値下がり傾向が見られる。
- ・その他の地方では例年と比較して値上がり傾向が見られる。

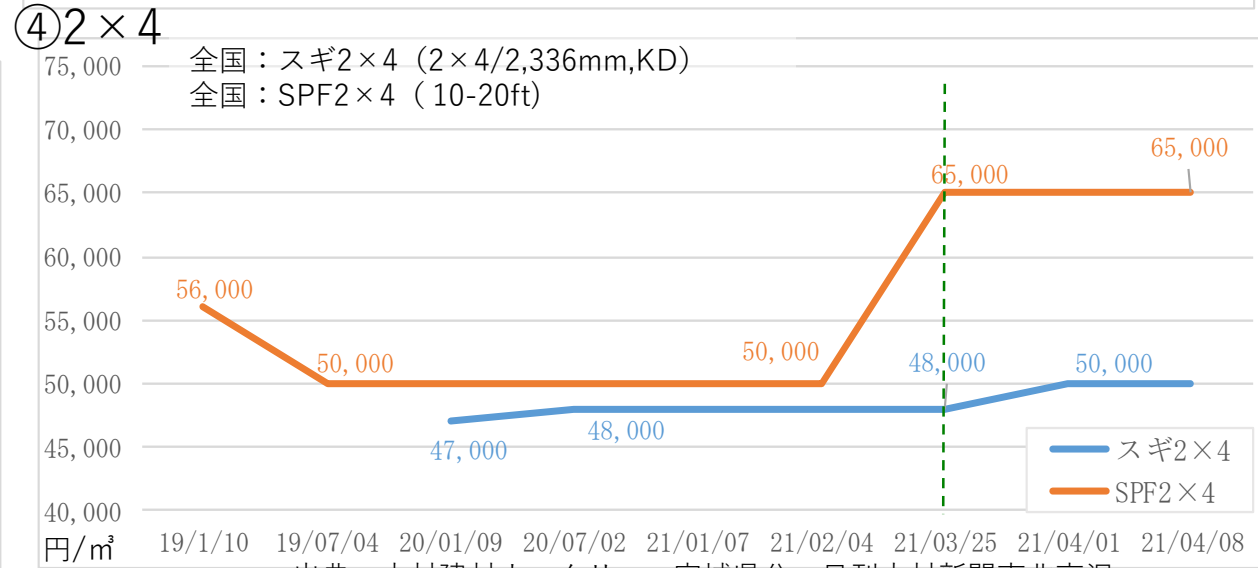
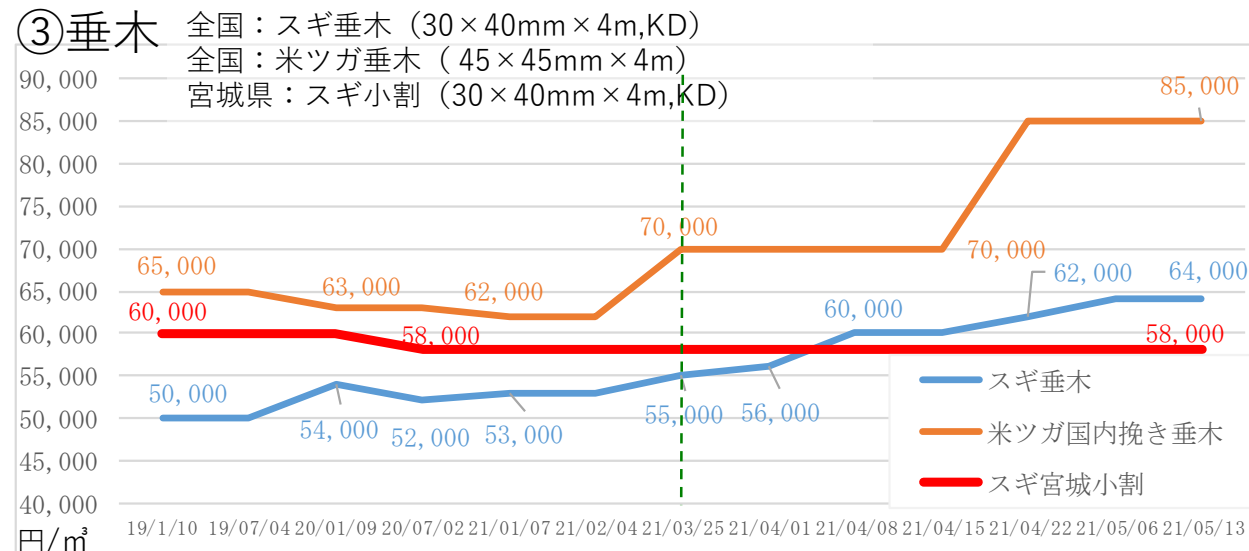
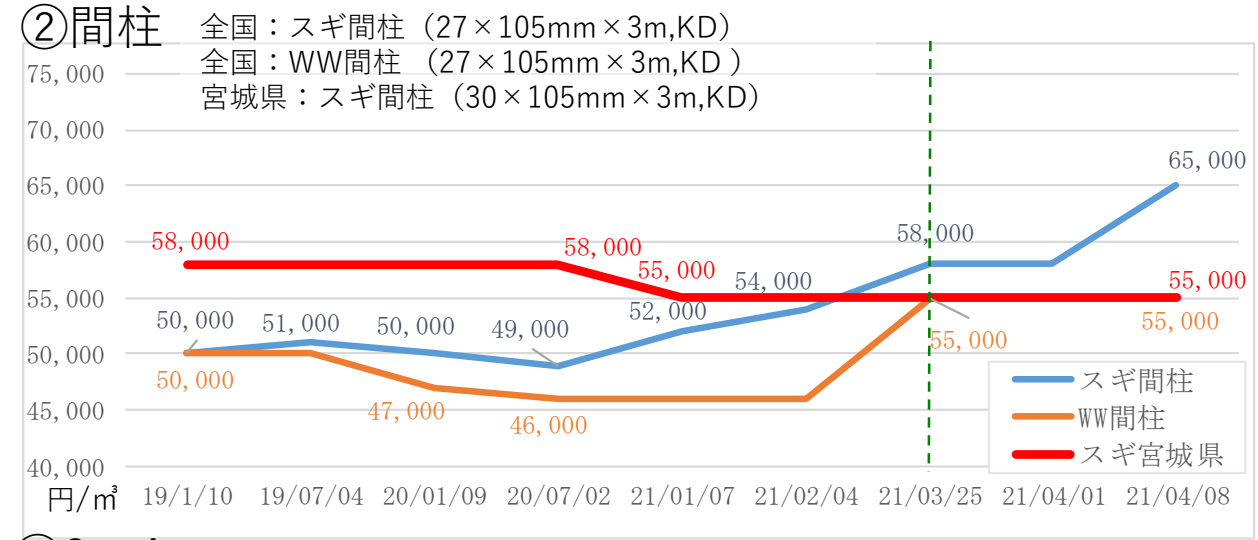
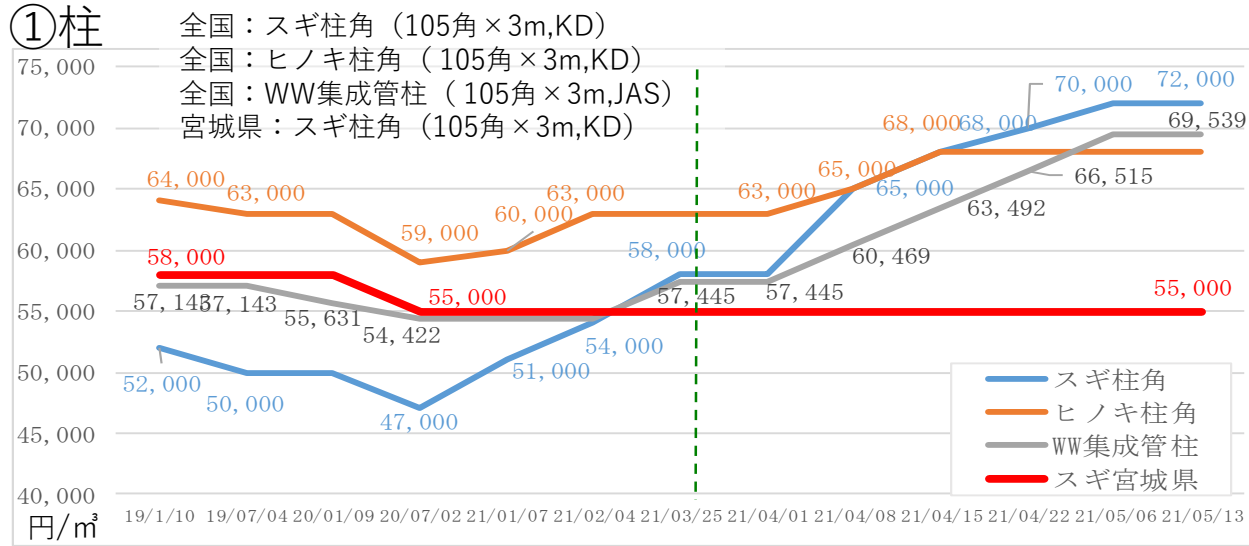


価格の比較 (円/m³)

	R1.5	R2.5	R3.5	R3/R1	R3/R2
宮城県	11,400	11,400	10,900	96%	96%
岩手県	9,500	9,600	9,600	101%	101%
秋田県	10,400	10,600	10,500	101%	101%
3県平均	10,433	10,533	10,333	99%	99%
全国	11,300	11,200	11,400	101%	101%

(4) 製品価格の推移・動向 (全国, 宮城県)

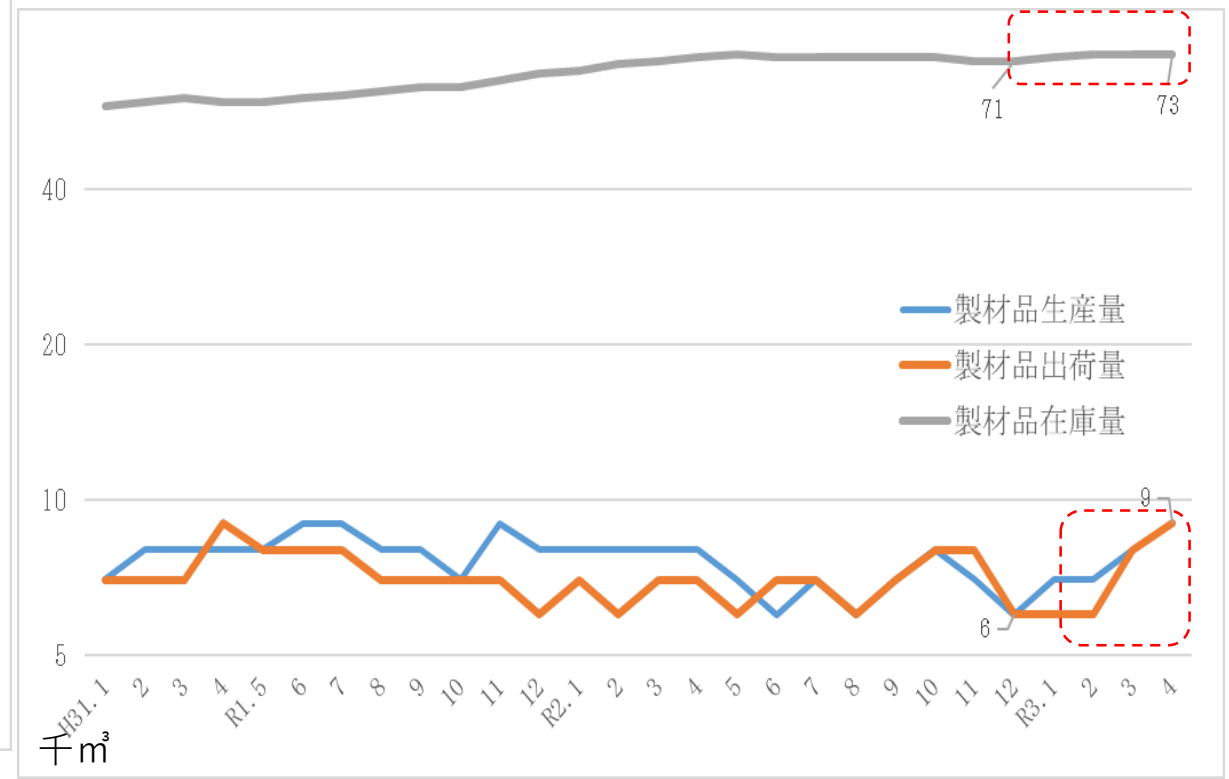
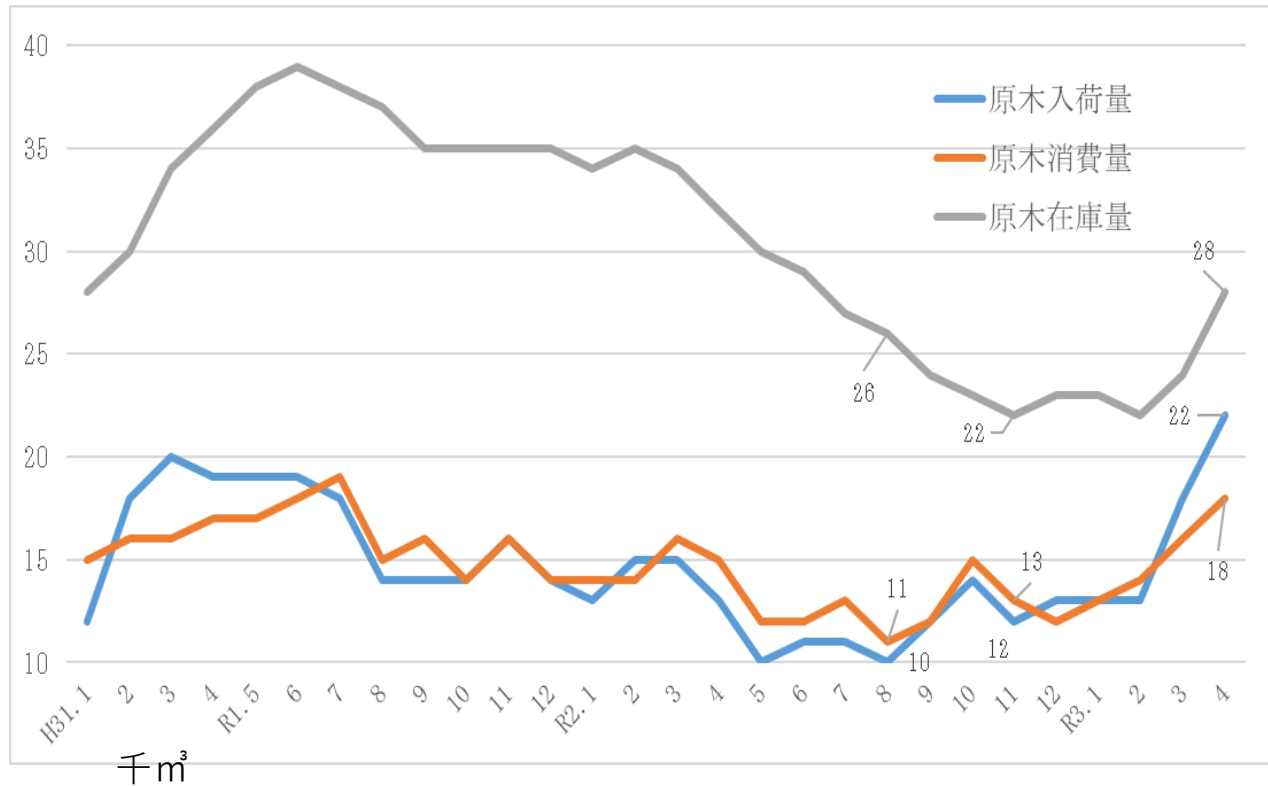
- ・ 全国で柱, 間柱, 垂木, 2×4材の価格は令和2年度末から高騰している。
- ・ 宮城県の価格は統計上は令和3年5月まで変化なし。6月から柱 (5,000円↑), 間柱 (3,000円↑), 垂木 (2,000円↑) が値上げとなっている。



2 原木の入荷，製品の生産等 (1) 製材工場の推移 (宮城県)

- ・原木の在庫量についてR2年度は新型コロナウイルスの影響により減少傾向に推移していたが，R2.11に持ち直し始め，3月から在庫量を増やすため，集荷に力を入れている。
- ・製品の在庫量は大きな変化はないものの，生産・出荷量共に増加傾向である。

製品生産量等 (県内)

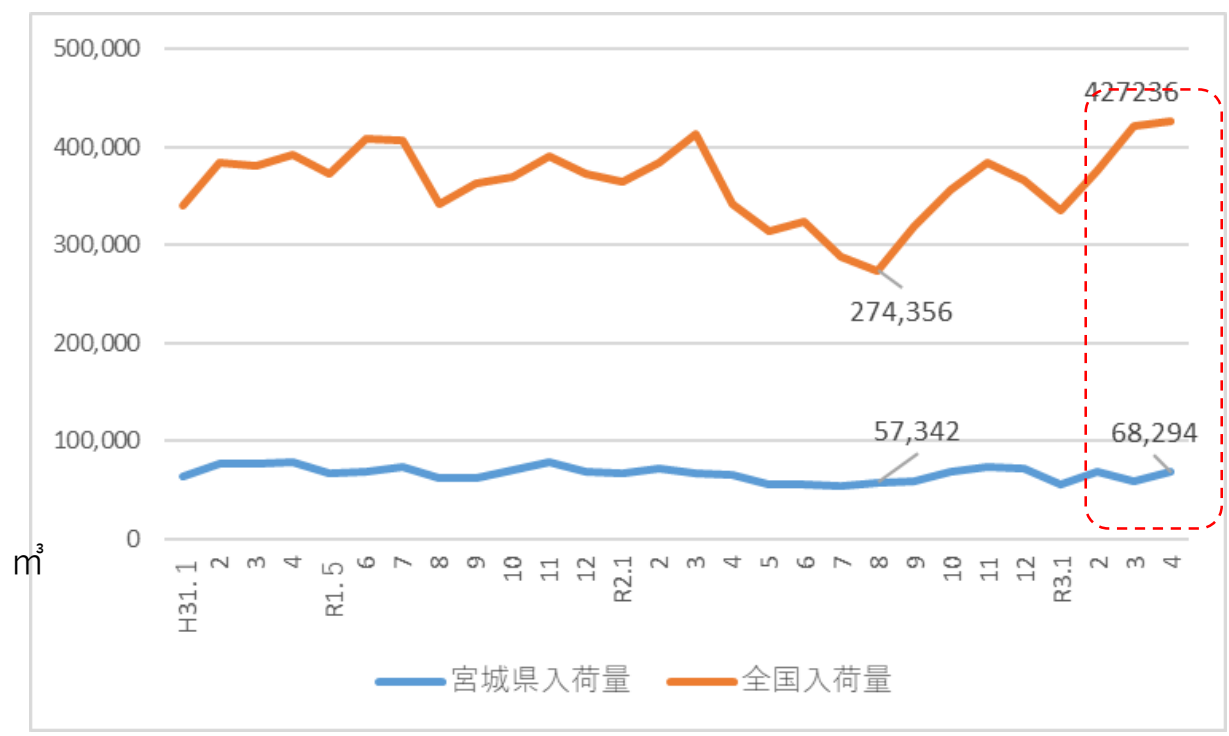


出典：農林水産省製材統計

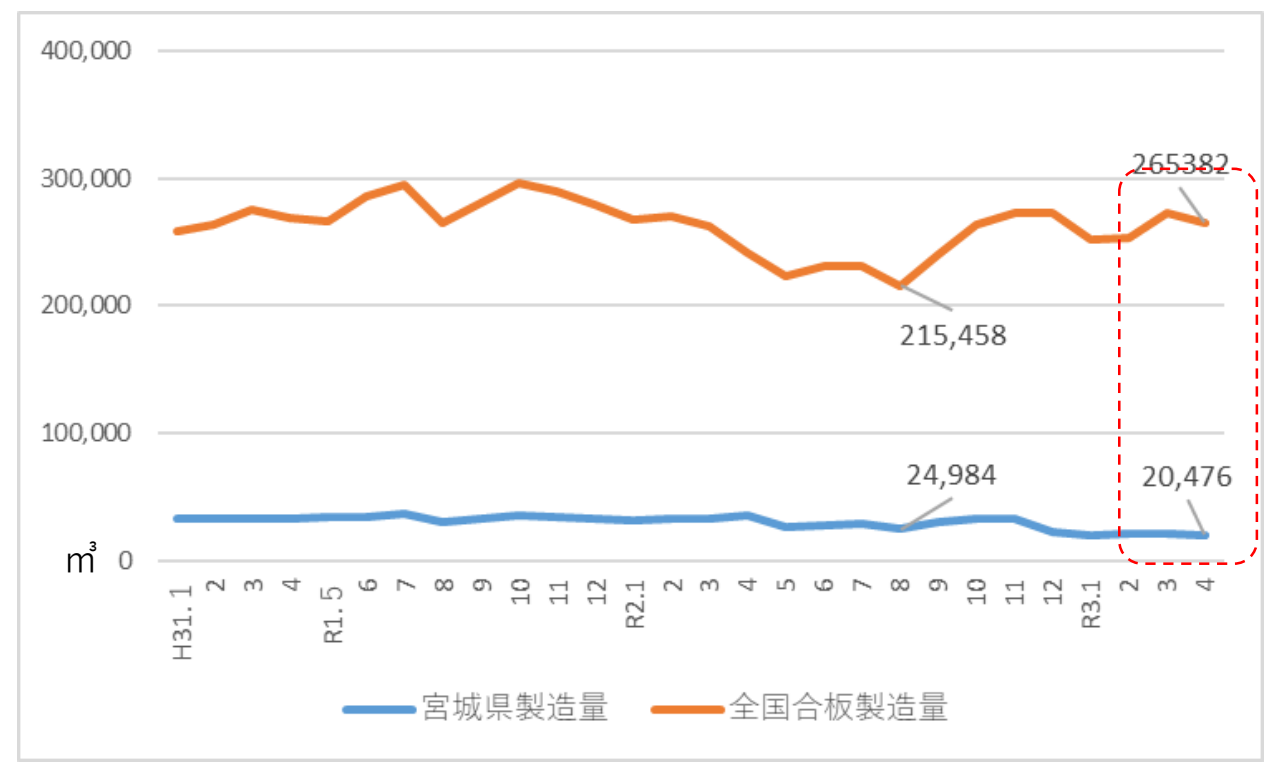
(2) 合板工場の推移 (宮城県)

- ・全国の原木入荷量は令和2年度上半期で減少傾向であったが、下半期から上昇傾向に推移している。令和3年に入り、更に増加している。宮城県も全国の動きと同様である。
- ・合板製造量は令和2年度上半期で減少傾向であったが、下半期から増加傾向に推移している。令和3年度に入り、更に増加傾向で推移している。宮城県では令和2年度については、全国と同様の動きを示していたが、令和3年は減少傾向に推移している。

原木入荷量 (m³)



合板製造量 (m³)

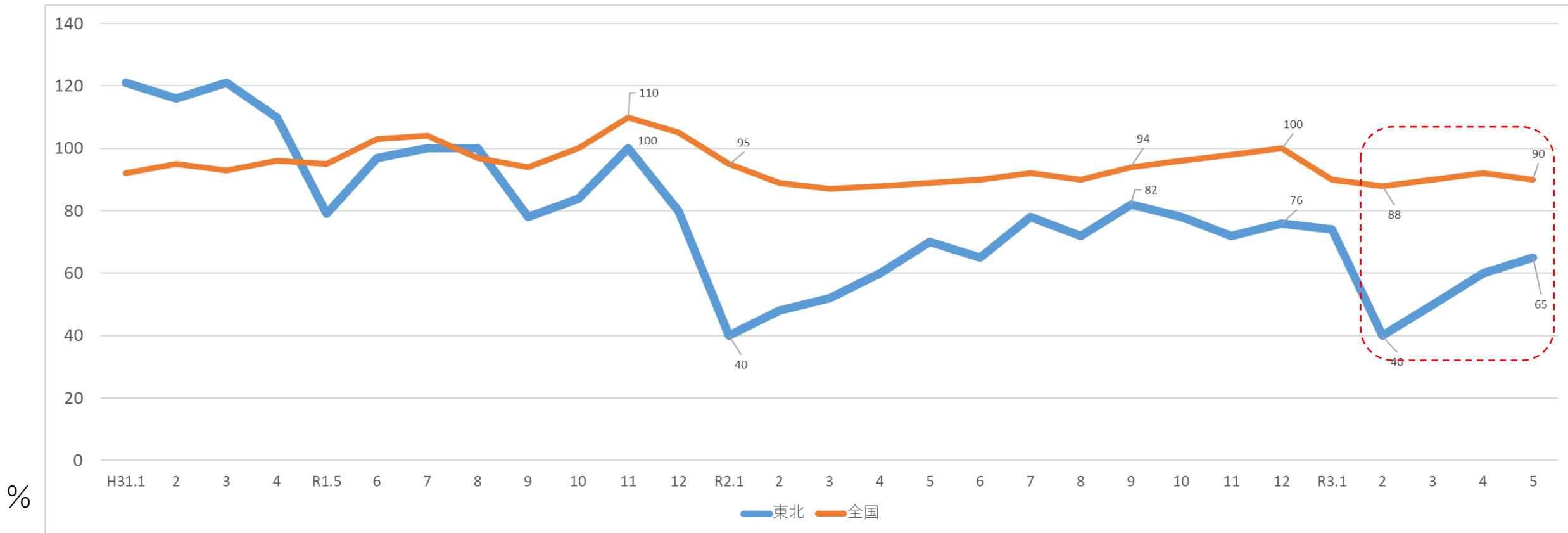


出典：農林水産省合板統計 宮城県分：当課調べ

(3) プレカット稼働率 (全国, 東北)

- ・全国のプレカット稼働率は令和2年2月を底に緩やかな上昇傾向が見られる。
- ・令和2年全体を通じて、東北地区の落ち込みが顕著であったが、令和3年2月を底に緩やかな上昇傾向が見られる。

プレカット工場稼働率



3 県内の新設住宅着工の推移 (1) 構造別 (宮城県)

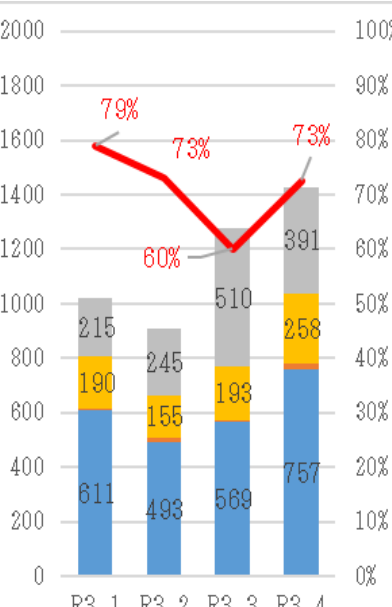
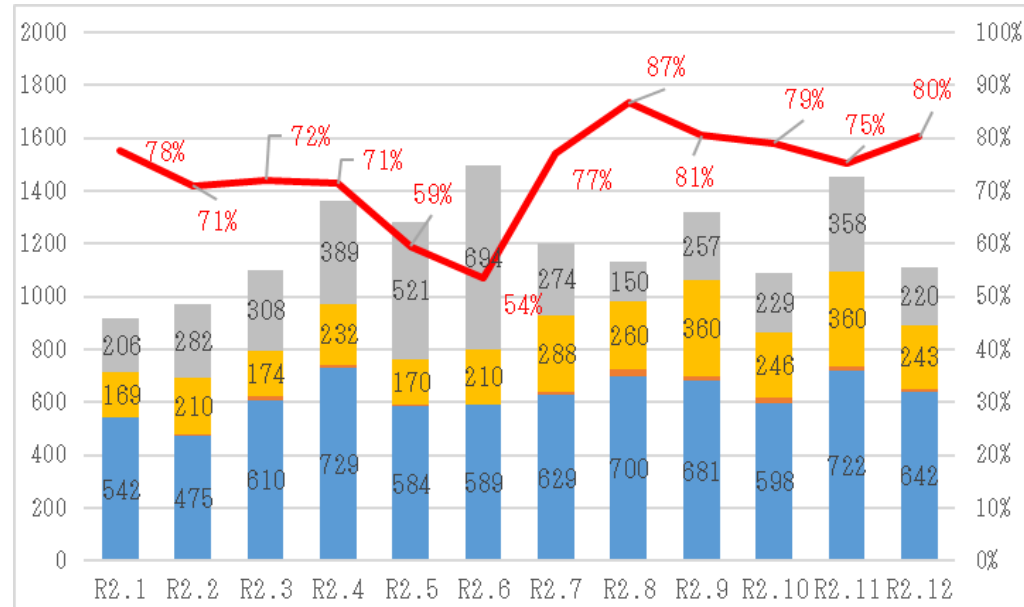
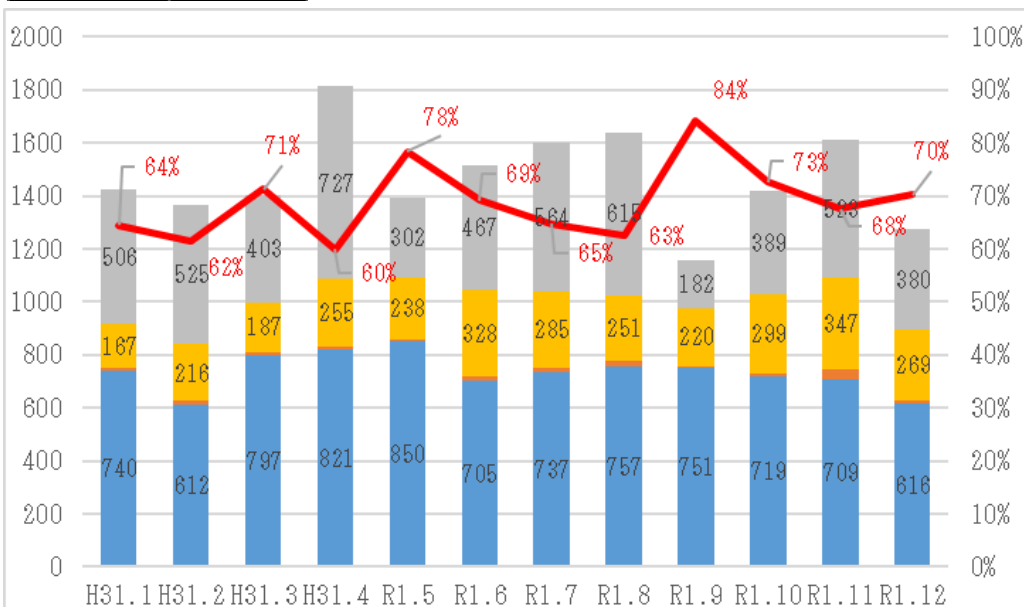
- ・令和2年の新設住宅着工戸数は14,451棟（前年比82%）。
- ・令和3年1～4月の新設住宅着工戸数は4,634棟（前年比106%，前々年比77%）。

木造軸組	
木造プレハブ	
木造2×4	
非木造	
木造率	

令和元年次
年：17,621棟（木造率70%）
1～4月：6,003棟（木造率64%）

令和2年次
年：14,451棟（木造率73%）
1～4月：4,358棟（木造率73%）

令和3年次
1～4月：4,634棟
（木造率71%）



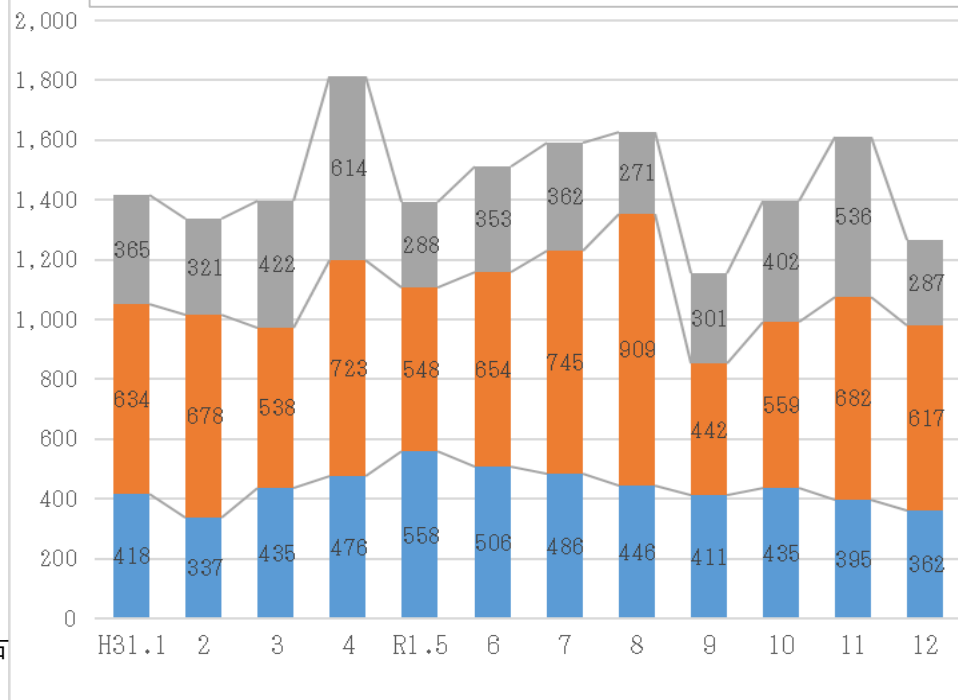
出典：国土交通省 住宅着工統計

(2) 利用別 (宮城県)

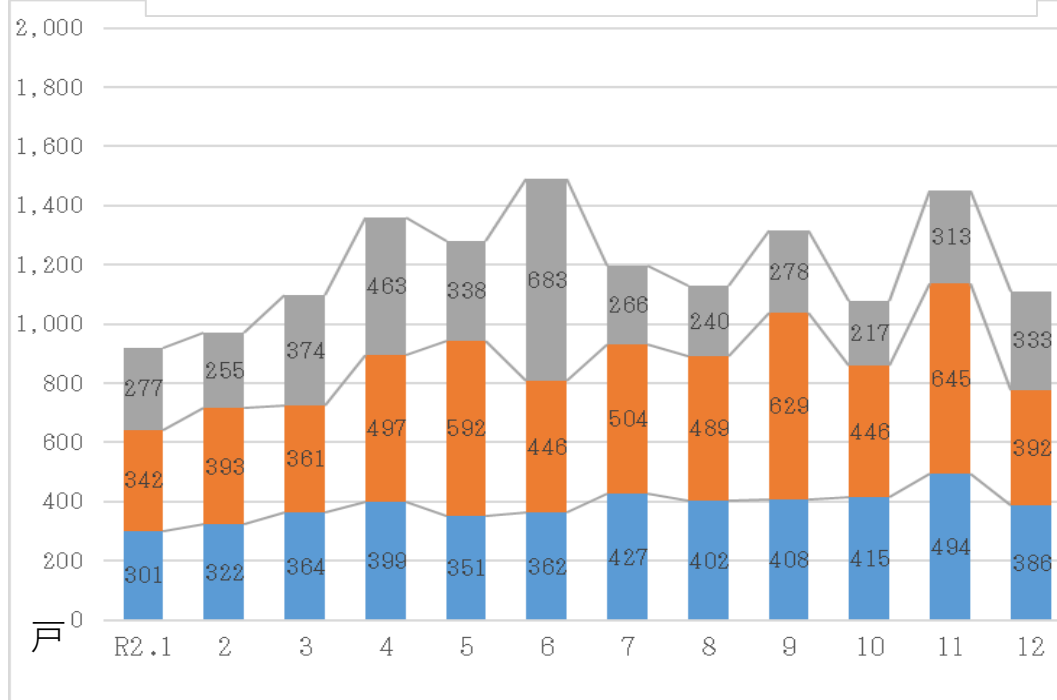
- ・ 令和2年の木造戸数は前年比で各利用で10~20%減少しているが、持家の木造率は高い。
- ・ 令和3年1~4月の木造率は、持家で92%ともっとも高く、貸家は低調である。

持家	■
貸家	■
分譲住宅	■

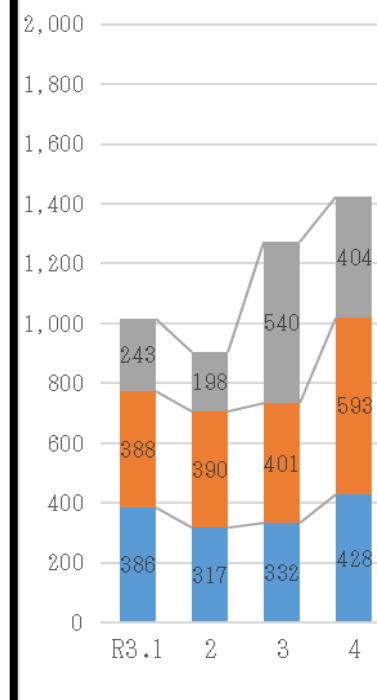
令和元年年次
木造率 持家：89%，貸家：55%，分譲：74%



令和2年年次
木造率 持家：92%，貸家：60%，分譲：74%



令和3年年次
木造率持家：92%，
貸家：51%，
分譲：80%



出典：国土交通省 住宅着工統計 ※給与住宅は除く